

脱炭素化のための 民生部門エネルギー需要モデル開発

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

11 住み続けられる
まちづくりを

13 気候変動に
具体的な対策を

REDD
JLPO

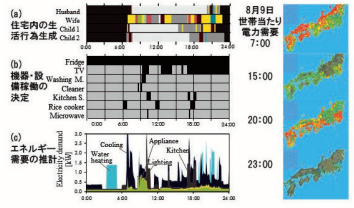
キーワード 脱炭素化、エネルギー需要シミュレーション、技術選択、
人行動

山口 容平 YAMAGUCHI Yohei

環境エネルギー工学専攻 准教授
共生エネルギーシステム学講座 都市エネルギーシステム領域 下田研究室



ここがポイント！【研究内容】



- 脱炭素化のためには、対策技術の明示、技術導入の効果の定量化、求められる削減水準に応じた選択肢を明確化が重要です。
- 省エネルギーやエネルギー管理のポテンシャルは大きいですが、総体をとらえるのは難しい。これを実現するために、民生家庭・業務部門を対象として、コンピュータ上でエネルギー需要が形成される構造を再現し、技術選択や人の行動のモデリングを含め、エネルギー需要を推計するモデルを開発しています。
- 省エネルギー、再生可能エネルギー、電化、電気自動車等主要技術を含めた脱炭素シナリオを開発しています。

応用分野	脱炭素化、エネルギー政策
論文・解説等	[1] Yamaguchi, Y., 他5名, <i>Applied Energy</i> , 2022; 303: 117907. [2] Perwez U., Yamaguchi Y., 他3名, <i>Applied Energy</i> , 2022; 323: 119536 [3] Li Y., Yamaguchi Y., Shimoda Y., <i>J Build Perform Simul</i> , 2022;15:287-306.
連絡先 URL	http://www.see.eng.osaka-u.ac.jp/seeue/seeue/

